

くよ風

Smile! / Service! / Science! 笑顔の大学病院を目指しています



例 顔の中央が成長していない



例 下アゴが右に曲がっている

形成外科の診療範囲は、頭の先から足の先まで、といわれており、「形」を治す治療を専門としています。今回は、「顔」の形の治療をご紹介します。

「顔」は、見る、呼吸する、話す、聞く、匂うなどの機能としての役割に加え、その人自身の個性そのものであり、内面の表示やコミュニケーションの媒体としても大きな役割を担っています。さらに、外見の判断材料として捉えられている面もあります。生まれつき、ケガや腫瘍、成長、老化など、様々な原因で生じた「顔」の形の悩みは、時として、その人の社会生活に深刻な悪影響を及ぼします。「顔」の診療のなかでも、顔の骨格に特化した領域は「頭蓋・顎・顔面外科」といわれております。当科では、頭の骨の形も含め、目の周り(眼窩)・頬・上アゴ・下アゴの骨の変形に対し、骨を切り、最適な形に組み替えることによって、形を改善させる治療を行なっています。

「顔」の形でお悩みの際は、お気軽に形成外科の外来でご相談ください。前向きで活動的な社会生活を取り戻す一助になれば幸いです。

なお、現時点では自由診療の取り扱いは無く、保険診療の範囲での対応となります。

(形成外科 諸富 公昭)

顔の形 の治療

Contents 2023年6月 第47号

- 顔の形の治療
- 医療費後払いサービスのご紹介
- 皮膚の難病、自己免疫性水疱症とは
- 様々な胃の症状や疾患の原因となる、
ピロリ菌の診断と治療
- 当院における乳がん術後連携パスについて
- 前立腺がんは早期発見が大切です
- 認定看護師・専門看護師の活動について
- 診療科紹介 核医学科
- ピアサポートとして車いす清掃を開催しました!!

登録料・利用料 無料

新・医療費後払いサービスのご紹介

患者さんのお声

支払いの待ち時間が
なくなつて助かります!



会計の行列に並ばずに
早く帰れます!

2023年1月23日より、患者さんの待ち時間の負担軽減、サービス向上のため、**登録料・利用料無料**の医療費後払いサービスを開始しました。サービス開始後4か月でのべ6,500名を超える患者さんにご利用いただいている、大変好評です。ご登録がまだの方はぜひご検討ください。本院診察券とクレジットカードをお持ちであれば、初回登録完了後からご利用いただけます。外来の場合、診察後は後払い専用18番窓口のご利用で、会計の列に並ばず、また当日のお支払いなしでご帰宅可能です。医療費は診察または退院の5日後以降にご登録いただいたクレジットカードから決済されます。

(医事運営課)



入院でのご利用方法など、

詳細なご案内はQRコードからご覧ください。

URL omu.info/wwtggccb



自己免疫性水疱症とは 皮膚の難病、

自己免疫性水疱症とは、全身の皮膚や目や口の粘膜に水ぶくれが生じる難病の一種です。代表的な病気である水疱性類天疱瘡では、全身にかゆみを伴う赤みができた後、膜が厚い水ぶくれがたくさんできてしまします。水ぶくれが破れると皮がめくれた状態になり、多くの患者さんがかゆみと痛みで日常生活が苦しくなる病気です。

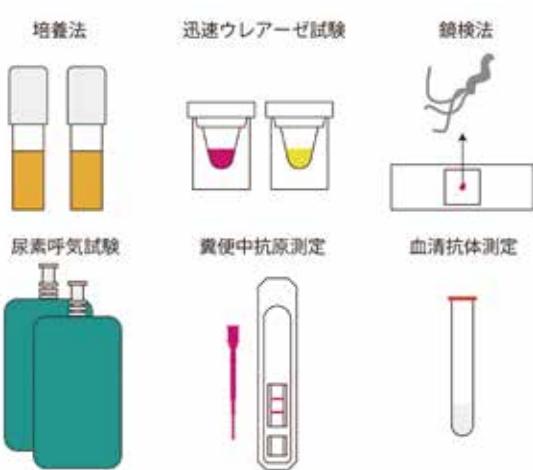
原因は体のなかで作られる異常なタンパクであるため、治療としては、そのタンパクの活動を抑えるステロイドを飲む治療が中心となります。適切な治療を受けることにより、多くの方が通常の生活を送れるまでに回復します。類天疱瘡の患者さんは高齢者に多く、日本全国で30,000人ほどいると言われていますが、今後はさらに患者さんが増えることが予想されています。当院は、関西広域から水疱症の患者さんが来院される専門病院であり、専門外来では、水疱症に特化した検査や治療に取り組んでおります。

(皮膚科 松本 大介)



様々な胃の症状や疾患の原因となる、

ピロリ菌の診断と治療



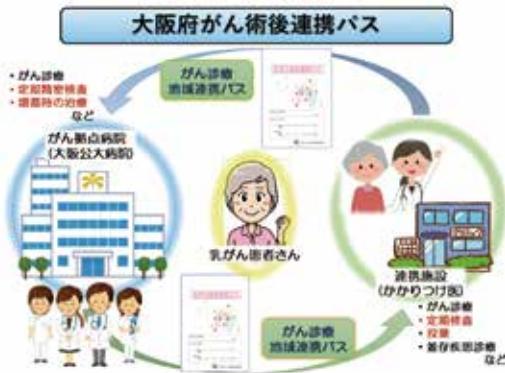
※核酸増幅法（PCR法）も導入予定です。

ヘリコバクター・ピロリ菌は胃に住み着く細菌で、胃痛や胃もたれの原因となったり、貧血、一次性免疫性血小板減少症、過形成性ポリープ、MALTリンパ腫、胃がんといった疾患の原因になります。内服薬を組み合わせたピロリ菌の除菌治療によって胃の不快な症状が改善し、食欲が亢進することがあります。貧血、血小板数の低下、過形成性ポリープ、MALTリンパ腫がよくなることがあります。さらには、将来の胃がんを予防することもできます。当院では内視鏡検査で胃炎と診断した場合は、最新の検査法によってピロリ菌の感染診断を詳細に行い、保険診療で一次・二次除菌を積極的に行っています。万一二次除菌まで行っても除菌できなかった場合は、自費診療になりますが、当院先端予防医療部附属クリニックMedCity21のピロリ外来で三次除菌を行うこともできます。ピロリ菌についてお聞きになりたいことがある方は、お気軽に消化器内科外来までご相談ください。

(消化器内科 大谷 恒史)

Helicobacter pylori

当院における
乳がん術後連携バスについて



乳がんは、女性が患う中で最も多いがんになります。当院の乳腺外科は、大阪でも有数の乳がん手術を行なっており、年間250件を超えていきます。

当院は国指定の『地域がん診療連携拠点病院』として、地域のかかりつけの先生方と乳がん診療に取り組む病診連携を推し進めています。とくに『大阪府乳がん術後連携バス』として、地域のかかりつけの先生に「ふだんの診察や処方」をお願いしています。大学病院では、さらに「専門的な検査を行なう場合」のみ来院していただき、患者さんの通院負担の軽減につとめています。乳腺外科では、これまで1,000件を超える病診連携の実績があります。

「大学病院」と「かかりつけ医」との連携のメリットを活かしたこの診療体制は、患者さんからも好評です。当院は地域がん診療の拠点病院として、今後もかかりつけの先生方とともに、高水準できめ細やかな乳がん診療に尽力してまいります。

（乳腺外科 森崎 珠実）

前立腺がんは年々増えており、男性がかかるがんの1位になったという報告もあります。一方で死亡数は少なく7位でした。つまり早期発見することができれば十分に治療可能ながんということです。そして早期発見に重要なのが超音波を使った前立腺針生検です。ただし、超音波では前立腺がんの場所がわかりにくいのでランダムに針を刺して組織を採取することになります。この際の精度をあげるために、MRI画像と超音波画像を融合する機器を導入しました。KOELIS社のTrinityです。MRI画像を事前に取り込むことにより、がんを疑う部位を狙って針を刺すことができるようになります。診断精度があがります。これによりがんを検出しやすくなることが期待されます。また当科では、いざ前立腺がんと診断された際には、患者さんに合わせた治療を提案しています。泌尿器科の特徴である診断から治療まで一貫したフォローが可能ですので、安心してお任せください。

（泌尿器科 大年 太陽 行松 直）



KOELIS社製 Trinity

**前立腺がんは
早期発見が大切です**

シリーズ 第22回 ～認定看護師・専門看護師の活動について～

当院では、専門的な知識と視点を持つ認定看護師・専門看護師が協力しながら対応・活動しています。

クリティカルケア認定看護師の活動は、あらゆる場で急性期にある患者さんの症状に応じた適切な初期対応、早期回復に向けた実践や指導を行うことであり、また災害時の対応も含まれています。当院は災害拠点病院であり、災害時には被災地域内の傷病者を受け入れることになっています。南海トラフ巨大地震は、30年以内に70%程度の発生確率と予測されており、大規模災害がいつ起きてもおかしくない状況です。そのような災害に対応できるよう、2022年2月4日に、多数傷病者受け入れを想定した災害訓練を実施しました。



災害対策本部の様子



傷病者対応の様子



クリティカルケア認定看護師として災害時初期対応の教育や災害マニュアルの作成に携わりました。訓練によって課題を見出すことができたため、今後も訓練を継続し、大規模災害に対応できる病院を目指します。

（クリティカルケア認定看護師 井上 佳世）

シリーズ 診療科紹介 核医学科

核医学診療は、核医学検査と核医学治療とに分けられます。

核医学検査は院内のFDG-PET/CT検査に重点を置きつつも、MedCity21のPET/CT健診コースにも対応しています。他に骨シンチ、肺血流シンチ、腎シンチや脳血流シンチなど多くの検査が可能で、院外からの核医学検査のご依頼にも対応しております。

核医学治療は、放射性薬剤の投与により治療を行ないます。外来治療として甲状腺機能亢進症の放射性ヨード治療、去勢抵抗性前立腺癌の骨転移治療を行なっています。入院治療としては甲状腺がん転移に対する放射性ヨード大量投与治療を行なっています。高い放射線遮蔽能力を有する非密封隔離病棟が必要で、当院での治療のために他府県から多くの患者さんが受診されています。2022年よりソマトスタチン受容体シンチにて陽性の神経内分泌腫瘍に対するペプチド受容体放射性核種療法も開始し、複数の施設からの治療相談を受けています。（核医学科 河邊 譲治）

図1 ソマトスタチン受容体シンチの画像

消化管由来の神経内分泌腫瘍の肝臓転移に異常集積を認める（矢印）

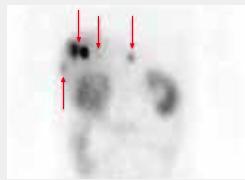
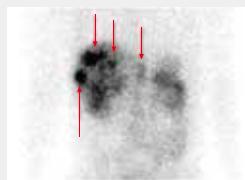


図2

ペプチド受容体放射性核種療法の治療後シンチ

図1の肝臓転移の部分にペプチド受容体放射性核種が集積している=放射線を放出する核種による治療が確認できる（矢印）



ピアサポートとして車いす清掃を開催しました!!







当院は2009年4月より大阪市の認知症疾患医療センターに指定されています。

当院の認知症疾患医療センターでは、毎日、地域の医療機関と連携しながら、認知症の鑑別診断や医療相談等を実施し、早期発見、診断を行っています。（鑑別診断とはわかりやすく言い換えると認知症の有無、原因疾患、重症度などを見極め、病気を特定することです。）

当センターでは、新しい取り組みとして、2023年3月3日（金）にピアサポートを実施いたしました。ピアサポートとは、同じような立場や境遇、経験等を共にする人同士の支え合いを意味する言葉です。同じ認知症患者さんの交流や社会との接点の提供などを目的に、当院の車いす清掃活動をピアサポートと位置づけ、従事していただきました。

ピアサポートの開催にあたりまして、参加者の調整や当日の準備など【NPO法人認知症の人とみんなのサポートセンター】・【あべのオレンジチーム】のみなさまにもご尽力いただきました事、この場を借りて御礼申し上げます。

今後も大阪市の認知症疾患医療センターとして、このピアサポートを継続的に行ってまいります。

（認知症疾患医療センター 患者支援課）

1台ずつ丁寧にきれいに…
みなさんが協力ありがとうございました。

発行／大阪公立大学医学部附属病院

所在地：〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1丁目5番7号
電話：(06)6645-2121(代表)

<https://www.hosp.omu.ac.jp/>

初診受付時間：午前8時45分～午前10時30分
休診日：土・日・祝日、12月29日～1月3日